

○城内排水施設整備全体方針

全体方針：「歴史的景観の維持・排水施設の機能」を両立をはかることを原則とする。

排水施設は、排水機能と集水機能に分けて以下の方針に基づき整備することを基本とする。

①排水機能：雨水を確実に排水するため、原則、側溝（景観に配慮した構造）を整備することにより確保する。ただし、遺構等に影響を与える場合は、別の方法を検討する。

②集水機能：原則、現状の地形傾斜を活用して集水する。

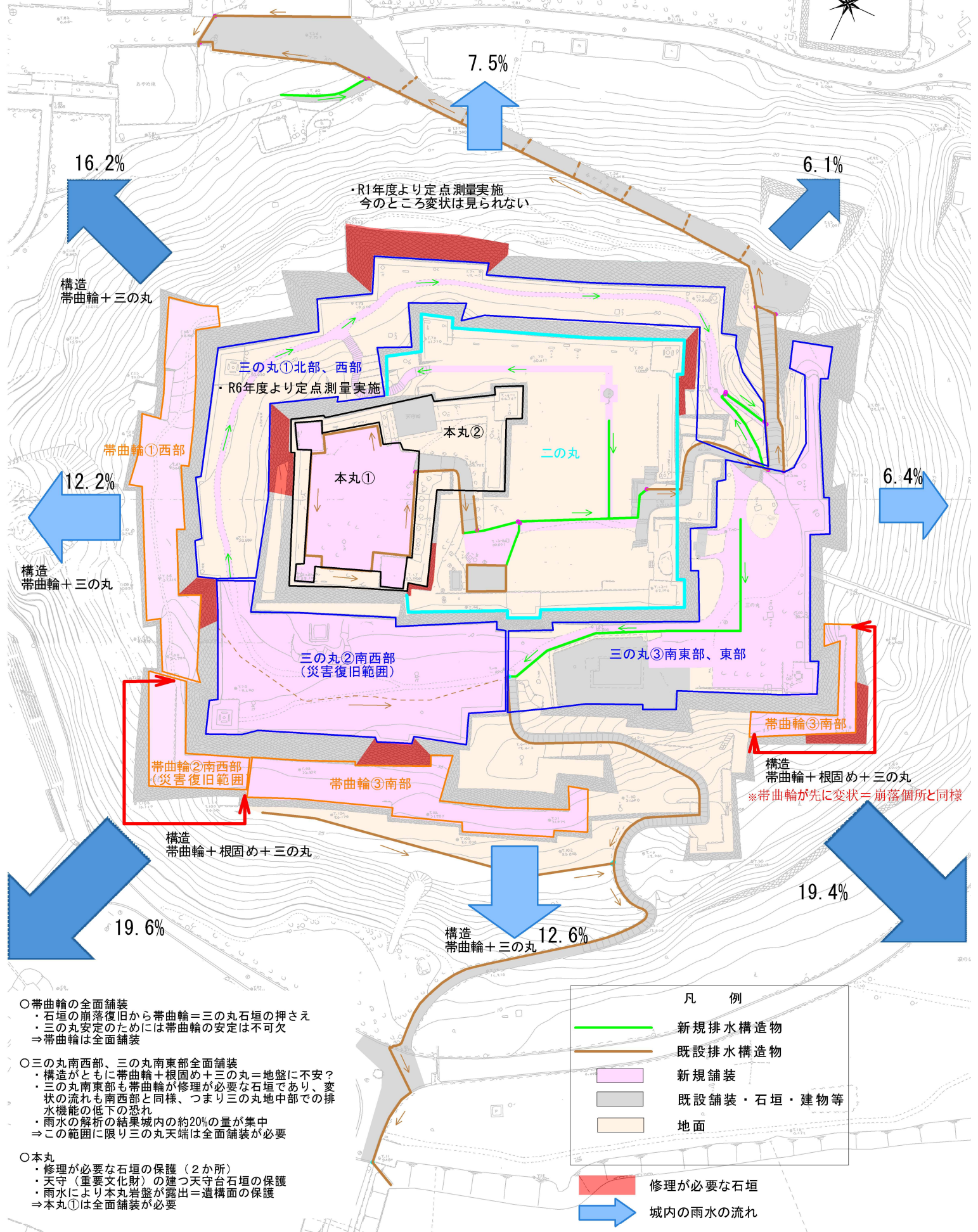
観光客の導線に位置する範囲は、踏み荒らしや土砂流出による排水機能低下を防止するため、側溝から必要な幅（3m以上）を舗装（景観に配慮した構造）する。

現地条件等により必要な集水機能を有する地形傾斜（必要排水勾配：2%以上）を確保できない場合、別の方法を検討する。

○城内排水施設整備方針（区間別整理表）

区間		排水施設の整備方針		各方針の詳細
		排水機能	集水機能	
本丸	①	側溝（既設）	全面舗装	排水機能：既設側溝を改修して排水機能を確保する。 集水機能：現状の地形傾斜を活用して集水機能を確保する。修理が必要な石垣及び重要文化財である天守が建つ石垣の長期的な保護、また、当該範囲は、観光客の主要導線内であり、踏み荒らしや土砂流出による遺構面のき損及び排水機能低下を防止するため、全面舗装をして集水機能を確保する。
	②	側溝（既設）	現状地形	排水機能：①に同じ 集水機能：現状の地形傾斜を活用して集水機能を確保する。
二の丸		側溝	現状地形 一部舗装	排水機能：側溝（景観に配慮した構造）を整備して排水機能を確保する。 集水機能：現状の地形傾斜を活用して集水機能を確保する。ただし、ただし観光客の導線に位置する範囲は、踏み荒らしや土砂流出による排水機能低下を防止するため、必要な幅（本丸導線：4m、井戸導線：2m）を舗装して集水機能を確保する。
三の丸	①北部、西部	表面排水	現状地形 一部舗装	排水機能：遺構（地山：最浅部GL-13cm）に影響を与えるため、側溝は設置できない。 舗装面を約5cm切下げて整備することで、排水機能を確保させる。 集水機能：現状の地形傾斜を活用して集水機能を確保する。ただし、観光客の導線に位置する範囲は、踏み荒らしや土砂流出による排水機能低下を防止するため、側溝に面して、必要な幅（3m）を舗装して集水機能を確保する。
	②南西部 （災害復旧範囲）	側溝	全面舗装	復旧設計では、崩落の原因となった雨水を適切に排水するため、以下のとおり復旧する。 排水機能：側溝（景観に配慮した構造）を整備して排水機能を確保する（仮設水路整備済み）。 集水機能：全面舗装をして集水機能を確保する。※城内に降った雨の約20%が流入。
	③南東部、東部	側溝	全面舗装	排水機能：側溝（景観に配慮した構造）を整備して排水機能を確保する（整備済み）。 集水機能：現状の地形傾斜を活用して集水機能を確保する。 排水勾配（必要排水勾配：2%以上）を確保しようとすると石垣との段差が30cm以上となるため、より緩勾配で集水機能が確保できる全面舗装により集水機能を確保する。※城内に降った雨の約20%が流入。
帯曲輪 【未公開範囲】 （観光客の主要動線外の範囲）	①西部	側溝なし （表面排水）	全面舗装	排水機能：地形形状から、下流側側溝への接続が困難なため、側溝は設置しない。地形傾斜を活用して斜面に排水する。 集水機能：帯曲輪は三の丸の押さえ盛土の役割を担っており、災害復旧の経験を踏まえ、崩落の要因となりえる雨水の侵入を防止するため、全面舗装をして集水機能を確保する。
	②南西部 （災害復旧範囲）	側溝なし （表面排水）	全面舗装	復旧設計では、崩落の原因となった雨水を適切に排水するため、以下のとおり復旧する。 排水機能：復旧工事で帯曲輪南西部に整備する排水管等により排水機能を確保する。 集水機能：全面舗装をして集水機能を確保する。
	③南部	側溝なし （表面排水）	全面舗装	①に同じ

丸亀城石垣保全整備事業（雨水排水全体計画図）



・R1年度より定点測量実施
今のところ変状は見られない

三の丸①北部、西部
・R6年度より定点測量実施

三の丸②南西部
(災害復旧範囲)

三の丸③南東部、東部

帯曲輪③南部
構造
帯曲輪+根固め+三の丸
※帯曲輪が先に変状=崩落個所と同様

- 帯曲輪の全面舗装
 - ・石垣の崩落復旧から帯曲輪=三の丸石垣の押さえ
 - ・三の丸安定のためには帯曲輪の安定は不可欠
 - ⇒帯曲輪は全面舗装
- 三の丸南西部、三の丸南東部全面舗装
 - ・構造がともに帯曲輪+根固め+三の丸=地盤に不安?
 - ・三の丸南東部も帯曲輪が修理が必要な石垣であり、変状の流れも南西部と同様、つまり三の丸地中部での排水機能の低下の恐れ
 - ・雨水の解析の結果城内の約20%の量が集中
 - ⇒この範囲に限り三の丸天端は全面舗装が必要
- 本丸
 - ・修理が必要な石垣の保護(2か所)
 - ・天守(重要文化財)の建つ天守台石垣の保護
 - ・雨水により本丸岩盤が露出=遺構面の保護
 - ⇒本丸①は全面舗装が必要

凡 例	
	新規排水構造物
	既設排水構造物
	新規舗装
	既設舗装・石垣・建物等
	地面
	修理が必要な石垣
	城内の雨水の流れ

丸亀城石垣保全整備事業（雨水排水全体計画図）

